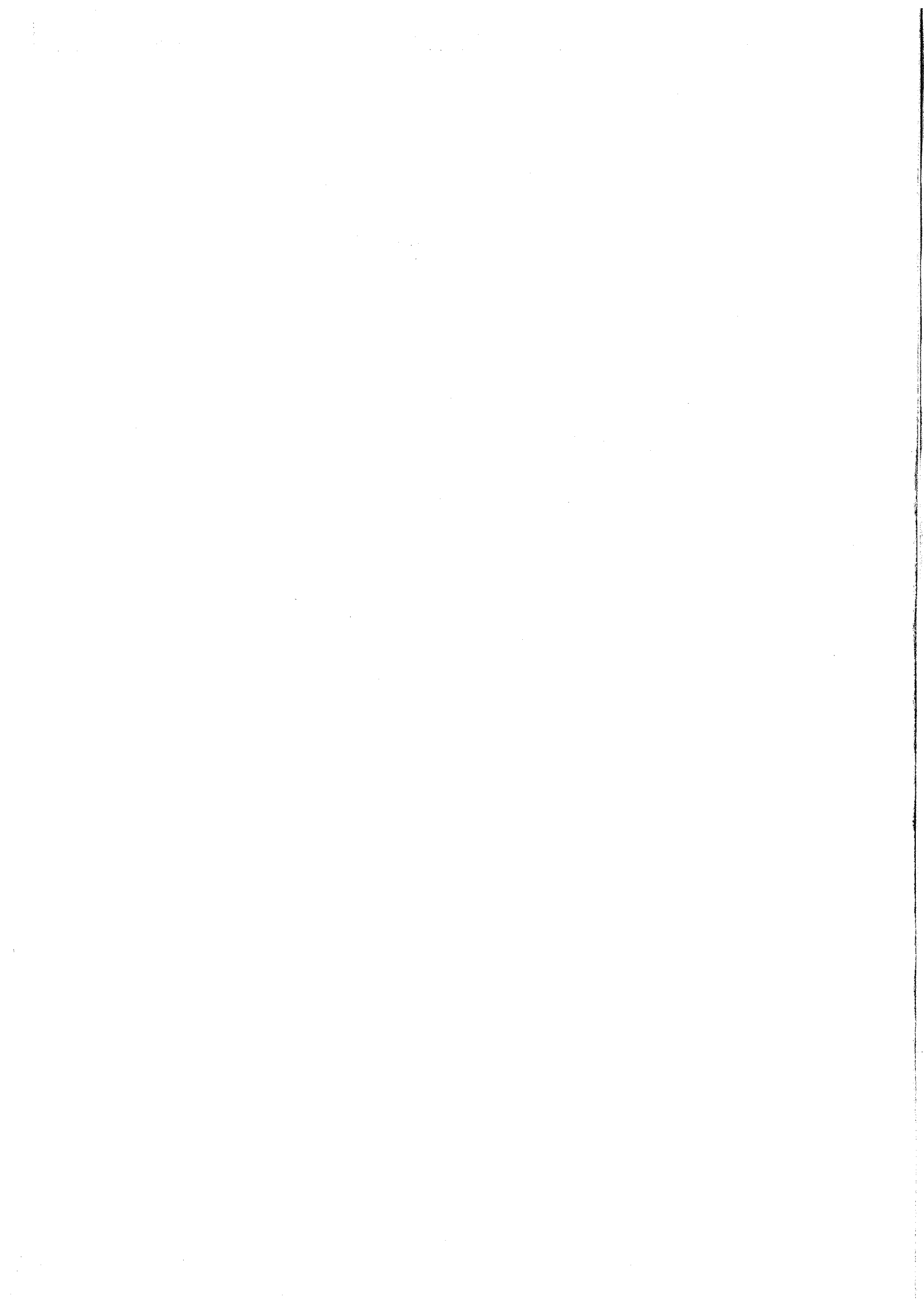


'94 / 年報

平成6年度

No. 2

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



はじめに

本資料館は、平成5年4月23日に開館されたものでありますが、2年目の歩みがまとまりました。運営審議会の委員の方々、地域の多くの方々にささえられ指導と助言をいただきながら、国民共有の埋蔵文化財をひろく地域の方々に開放し、これを通して歴史を考え、遠い原始・古代の人々の生活や文化にふれることをねがってきました。これを通して現代から未来へのかけはしになり、自然と人間のふれあいについて、あるいはこれからの生活や文明について認識をひろげていただくことをねらいにして展示部門・研修部門ともども努力を重ねてきました。まだまだ改善すべきところが多く、参観の方々のご要望にも充分にお応えできないところも多々ありますが、今後とも鋭意力を尽くしていく所存であります。

わかりやすい展示と地域にねぎし、全国に情報発信ができる資料館づくりがわたしどもの理想とするところでもあります。わかりやすい展示の一環として今年度、常設展示室のなかの押出遺跡復元住居に当時の生活を再現したジオラマを設けました。また、各種の研修事業も予想以上の参加をいただき、初年度に比較していずれも大変な盛況のうちに終ることができました。これは関心をもたれる方々が多くなってきていることを示すものでもあります。これらの期待にこたえるためにも一層豊かで充実したものを創造していかなければならないと考えているところであります。

いよいよ来年度は3周年をむかえることになり、記念の特別展や諸行事も計画されております。どうぞ、今後とも当資料館のためにご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1995年3月

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

館長 川崎利夫

目 次

1. 展示の概要	1
(1) 常設展示室 復元住居内のジオラマ開展	1
(2) 企画展	3
・一の坂遺跡と巨大住居	
・発掘された中世	
(3) 収蔵品展	5
2. 教育普及活動	6
(1) 公開講演会	6
(2) 土器づくり	6
(3) 縄文手作り教室	7
(4) 縄文月見の宴	7
(5) 考古学入門講座	8
3. 資料の収集・保管	9
(1) 移管	9
(2) 寄託	9
4. 資料の活用	10
・資料利用一覧	
・今年度の刊行物	
5. 入館状況	12
・月別入館状況	
・主要団体入館一覧	
・来館者アンケート	
6. 管理及び運営	17
(1) 今年度の職員組織	17
(2) 資料整理要領	18
(3) 運営協議会	27
7. まほろば古の里歴史公園整備事業	28
8. 受贈図書・資料	29
9. 日誌抄	38

1. 展 示 の 概 要

(1) 常設展示室 復元住居内のジオラマ作製と開展

常設展示室の中央に押出遺跡で発掘された資料をもとに復元された壁立ち式の平地住居が据えられている。ほぼ実物大で、内部の状況がわかるように片側を半さいにし展示してある。そこに5,500年前の縄文時代のくらしを再現し、より具体的なわかりやすいものにするために、ジオラマを製作することになった。

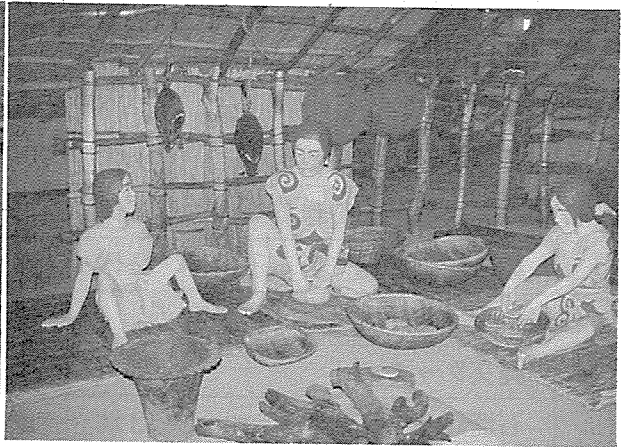
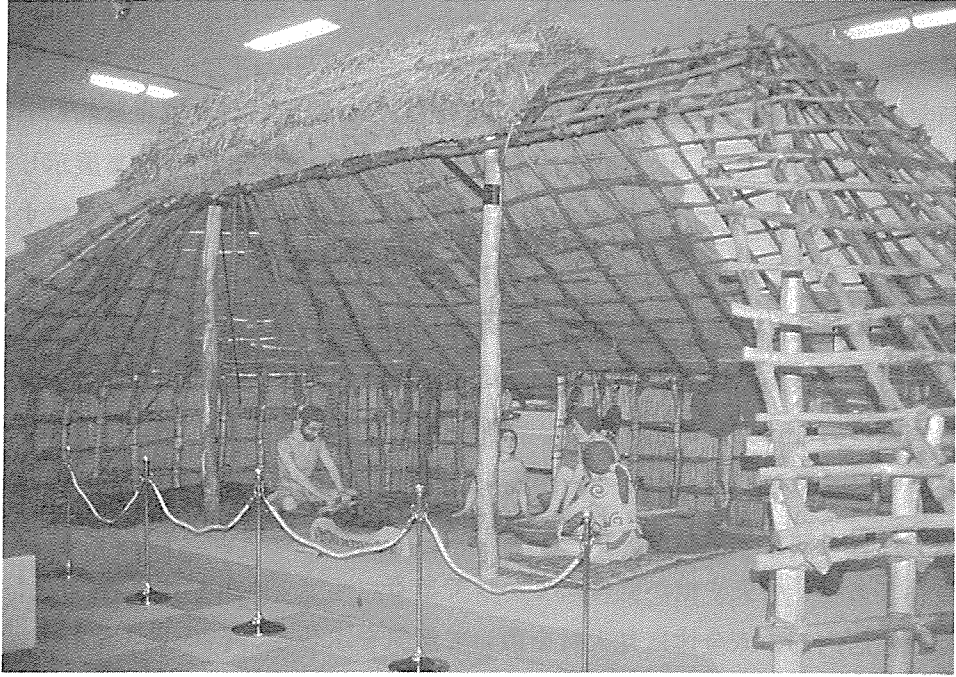
これを丹青社に委託し、さらに山新建装と美尚堂工房においてそれぞれ担当して、2月1日に完成し、2月3日に本館運営審議委員や高島町関係者が集い開展式が行われた。

内容は、大人の男性（父）が斧を磨き、女性（母）が食用の粉をこねている。まわりに2人のこどもがいる。まもなく縄文クッキーが石の上で焼きあがる。女の子はクッキーづくりを手伝い、男の子は母と顔を見合わせにっこりしている。まわりには、「さけ」のくんせいや「まがも」がさげてあり、弓矢や槍が壁にたてかけてある。

基本的には、住居内部の床全体に丸太材を敷いて湿気をふせぎ、その上にアンペラナなどをしたものと思われるが、それは熊の毛皮をしいた部分と炉の部分にとどめてある。石皿や石器、クッキー、籠などはレプリカを用いているが、土器と散らばっている剥片石器は実物が用いられている。人物の着ているものは、麻を素材としている。季節は、初夏を想定している。総工費は、約1,200万円である。

製作物の種類と内容

名 称	数量	摘 要
縄文時代の人物		古代布を素材にした衣服着用
石斧を研いている男性	1体	県内で出土した石皿、磨石を使用
縄文クッキーを作る女性	1体	
親の仕事を見ている子供	2体	
住居の生活物品		
縄文クッキー	1式	樹脂製
石器類	3個	磨製石斧（砥石を含む）、槍、弓矢
熊の毛皮	1枚	6尺弱
敷物	1式	植物の繊維で編んだもの
鮭のくん製	4本	天井の梁から吊り下げる
水鳥の剥製	2羽	”
かご	8個	竹製4個、つる性植物製4個 直径18～40cm、深さ15～30cm
炉	1式	丸太材を並べた上を粘土で覆ったもの。



完成したジオラマ、5,500年前の家族

(2) 企画展

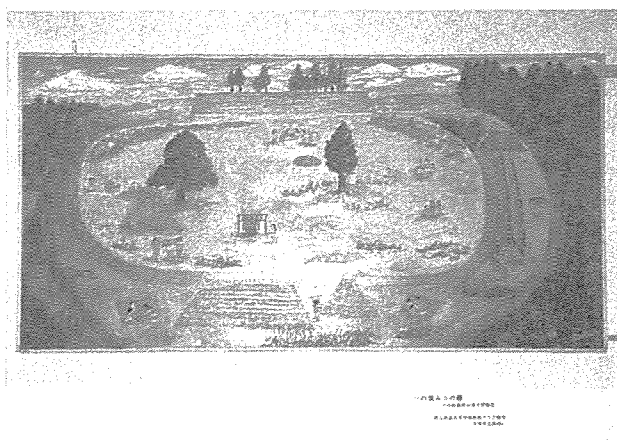
・第2回企画展 ・テーマ「一の坂遺跡と巨大住居」 5月1日～7月30日

1989年に米沢市西部の館山のふもと、矢来の台地から長さ43.5m、幅3.5～4mの巨大な細長い竪穴式住居が米沢市教育委員会によって発掘され、大きな話題になった。最近、北陸や東北の各地においてふつうの住居跡とはおもむきを異にする10mをこえる大きな竪穴式の構築物の跡が発掘されて注目されている。最初に発見されたのは、1973年富山県朝日町の不動堂遺跡で、長さ17m、幅8mの竪穴住居跡で、内部に4か所の炉跡がならび、大きな柱穴が周囲に14個めぐっていた。これらの巨大住居は、岩手・秋田・青森などの諸県でも発見されているが、昨年脚光をあびた青森市三内丸山遺跡でも発掘されている。

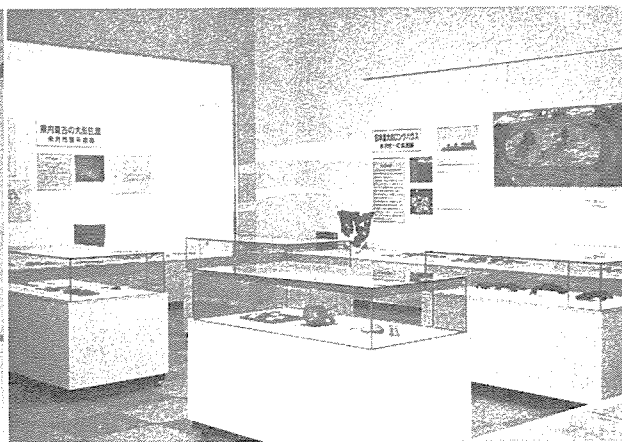
この度は、「最初に発見された巨大住居」で富山県埋蔵文化財センター保管の不動堂遺跡の縄文中期前半の土器と石器、それに巨大住居の写真や実測図を展示した。つぎに米沢市成島窪平遺跡において15軒の竪穴住居跡とともに発掘された長さ24.5m、幅4.5mの長方形の竪穴を紹介した。ここからは、縄文前期初頭の土器や石器が発見されているので、「最古の巨大住居」のテーマとし、つぎにメインとなる「一の坂遺跡のロングハウス」のコーナーで、ここから出土した縄文前期関山式の完形土器、ロングハウス内から発掘された「両尖あいくち」

「石もり」をはじめ石器の制作工程をしめす多数の遺物が会場をかざった。また10軒の竪穴住居跡が軒を接して連なる「連房式竪穴住居」も注目をあびた。また、この度は県立高島高校美術クラブの制作にかかる「一の坂ムラの春」「窪平の大型住居」の油絵大作が会場を飾り、好評を博した。

東根市小林遺跡からも縄文前期の大型住居は発掘されている。遺物とともに紹介し、最後に縄文文化へのこれまでのイメージ転換を意図して「おしゃれでグルメな縄文人」のテーマでしめくくった。なお会期中の6月4日に秋田県埋蔵文化財センター所長富樫泰時氏による「東北・北陸巨大住居が意味するもの」の公開講演もおこなわれた。



第2回企画展



「一の坂遺跡と巨大住居」展示状況

・第3回企画展 ・テーマ「発掘された中世—まじないと祈りの世界—」

10月1日～11月30日

最近、これまでそれほど注目されることのなかった中世の遺跡が各地で発掘され、これについての関心もたかまり、新しい観点からとらえなおそうとする学際的研究も行われつつある。この度は、「まじないと祈りの世界」に焦点をすえ、「まじないの世界」「経塚の展開」「中世の墓地」の三小テーマの構成で、県内出土の遺物を中心に展示することにした。これには、山形県埋蔵文化財センター・致道博物館・出羽三山歴史博物館・山形市明円寺尚古館、米沢・川西・白鷹・遊佐・山辺・高島などの各教育委員会、個人の方など18の機関・個人の貴重な文化財を借り受けることができた。51の遺物、点数にして130点である。「まじないの世界」では、八幡町俵田遺跡から出土した人形代、人面墨書土器、斎串、堂の前遺跡の「急々如律令」の木簡、各地の呪術的な墨書土器などがならべられ、それぞれパネルで説明してある。「経塚の展開」は、山形市仁田の沢・東根市薬師寺裏山・南陽市烏帽子山・高島町元和田・白鷹町笠松山・称名寺山・川西町菊田などの経塚の一括遺物が展示され、遊佐町金俣経塚の珍しい木製経筒や外容器も出品された。それに加えて、一字一石経石や山寺立石寺の笹塔婆などもかざられて、多様な経塚の展開を示すものとなった。さらに、中世の池中納鏡の信仰をあらわす羽黒鏡が各種にわたり5面展示された。

「中世の墓地」では、「餓鬼草紙」の絵巻き物を壁面に、各地から出土した蔵骨器や供養塔としての板碑や木製五輪塔（立石寺）やそれらの写真パネルもかかげられた。写真のパネルは、山形県史編纂室から提供をうけた。この度は、中世の信仰に主体を置いたが、今後生活や戦いなどもテーマとして取り上げていきたい。期間中の10月15日に東北大学教授入間田宣夫氏による講演会並びに翌16日にかけて中世シンポジウム「祈りと戦いの中世」（第3回）が行われ、東北各地から70名の参加があった。



「発掘された中世」展



中世シンポジウム

(3) 収蔵品展

本館の収蔵する資料は、主として最近山形県教育委員会による緊急発掘調査によって発掘された置賜地域の諸遺跡より出土した資料が大半である。年2回の企画展示の間に今年度は次のような展示が行われた。

・「平地と山地の縄文遺跡」 8月4日～9月25日

すでによく知られている東の平地部の高畠町押出遺跡と、出土した遺物から当時の生活の再現につとめ、石器をつくる、木を着る、土を掘る、木の実を集める、狩りをする、魚をとる、削る、切る、剥ぐ、搔く、穴をあける、木の実を砕く、粉をひく、煮る、貯蔵する、織る、編むなどの生活行為につかわれたもの、またはそれによって作られたものなどを順序よくならべて、縄文時代のくらしがイメージ化されるように展示した。壁面には、各遺跡写真や住居跡などの図画を掲示し、理解を助けるよう配慮した。立体的な造型物も必要であったが、これはできなかった。

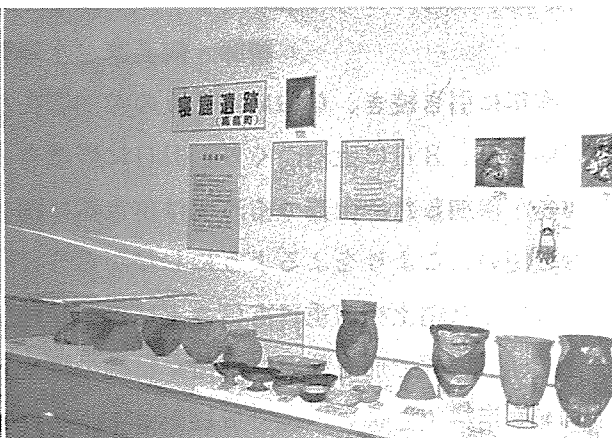
・「古代の村とくらし」 12月6日～4月23日

国道バイパス建設にともない発掘調査がおこなわれた高畠町南原遺跡と寝鹿遺跡の土師器などを中心に、6世紀の古墳時代後期のころの生活に迫ろうと意図したものである。祭祀用のミニチュア土器や紡錘車、井戸枠の板材、古式須恵器などの貴重な遺物も展示されている。古墳時代の集落遺跡に関心をもつ人々にとっては見逃せない展示であろう。当時の食器のセットなどもならべてあり、食生活の一端もかいまみることができる。

この期間の展示がもっとも長期間に及ぶが、冬の季節なので入館者は少ない、じっくり参観できる落ち着いた展示であった。



平地と山地の縄文遺跡



古代の村とくらし

2. 教育普及活動

(1) 公開講習会

6月4日 参加者41名

講師 秋田県埋蔵文化財センター所長 富樫泰時氏

第2回企画展にあわせて「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」と題し、巨大住居が初めて富山で注目されてから現在に至るまでの、それがもつ意味を述べられた。

巨大住居はもちろん大きな建物を指すわけだが、小さい住居群の中でそれらより少し大きめの住居の持つ意味も大切にしていかなければならない。それは、この住居もまた巨大住居と同じ意味を持つものと考えられるからで、超自然的なものに対する恐れを皆と分かち合う場がそれであるとした。

10月15日 参加者65名

講師 東北大学教授 入間田宣夫氏

第3回企画展にあわせて「中尊寺金色堂の視線」と題し、平泉の怨霊、つまり戦いで殺した相手の首（の目線）の恐ろしさなどを述べられた。

敵対する相手と目が合えば戦いになった時代、弓矢を打ち合うときはお互いに相手の左目だけが見える。それゆえに左目が効き目になり、それはまた攻撃の目になった。お互いとお互いが向かい合い、魂を向かい合わせるため、目線を交わすことを「魂合い（たまあい）」といった。中尊寺金色堂の視線の中に「柳の御所」（平泉館）も入ることを明かにされた。

(2) 土器づくり教室

7月3日 土器づくり

7月31日 野焼き 参加者40名

講師 陶芸家 水野哲氏

昨年に引き続き、なおいっそうの参加者を募るために、今年は夏休み時期にあわせて教室を開催した。3日に土器づくり、31日に野焼きという日程で、県内を中心として親子連れなど約40名が参加した。土器づくりでは、土器に縄目模様を付ける施文具づくりからスタート。綿ひもを使い、こよりをよるようしながら3種類の施文具を作った後、土器づくりに挑戦。リング状にした粘土を何重にも積み上げる「輪積み」や、長いひもを上に向かって巻いていく「巻き上げ」方式で形を整え、最後に、綿の縄や竹管を使って模様を付けて仕上げた。

工作用粘土と違い、硬くて細工しにくいいため水を使いすぎてぐちゃぐちゃになったり、積み上げる途中で形が崩れてしまう人もいたが、全員、両手を泥だらけにしなが、縄文人気分を楽しんでいた。

野焼きでは、朝6時から火をたいて土を乾燥させ、約4週間陰干しをして水分を抜いた土器を10時頃から焼き始めた。

飾りを多く付けた人など、途中で取れたりしたものもあったが、ほとんど割れることなく焼き上がった。土器が真っ黒に焼けた後、さらに白く焼けていく過程などは、子供たちに大変興味をそそらせていた。

土器を焼きながら、一方で、焼き芋や温泉のお湯を入れた土器であさり汁を作ったりして、古代人の生活の一部を体験した。



土器づくり教室 完成した作品を手に

(3) 縄文手作り教室

7年3月11日 参加者33名

講師 米沢市教育委員会 手塚 孝氏

今まで縄文時代の料理や楽器などの製作を考古学入門講座に組み入れて行ってきたが、また別の体験学習事業として、当時の首飾りや耳飾りなどの装身具を作る教室を開催した。

装身具といっても種類がたくさんあり、頭部につけるものであれば、かんざし、耳飾り、櫛、首飾りなど、胴部につけるものであれば、腰飾、ボタン、垂飾などがある。またその素材もさまざま、石製、貝製、骨角製、木製、土製などがある。

今回は、軟質の石灰岩を原料として、玦（けつ）状耳飾りと勾（まが）玉の二種類の装飾品作りに挑戦した。耳飾りは砥石で直径約4センチの円形に仕上げ、耳たぶに挟まるような隙間を開けるなど、細かな作業の連続。勾玉もしかり。参加者は手を真っ白にしながらか完成品を耳につけ、縄文時代の素朴なイヤリングを楽しんでいた。

(4) 「縄文月見の宴」

9月20日十五夜 参加者64人

中秋の名月にあたる9月20日に、昨年に引き続き天童市や山形市からの参加者のもと、月を見ながら縄文時代の生活を体験した。

縄文料理作りの前に、石を鹿の角でたたいて石器を作り、その石器を用いて縄文クッキー・魚の石蒸し・縄文のお酒などを料理して、できあがった縄文料理を試食。

映写会のあと、野外の広場で長井市の縄文太鼓の演奏に耳をかたむけ、縄文の踊りを再現した。その後、川崎館長を囲んで縄文の語らいが行われ、縄文のロマンにひたった一夜となった。

(5) 「やさしい考古学入門講座」

8月21日～1月22日 参加者48名

講師 米沢市教育委員会 手塚 孝氏

日本考古学協会会員 佐藤鎮雄氏

高畠町郷土資料館館長 山崎 正氏

(財)山形県埋蔵文化財センター調査研究課長 佐々木洋治氏

(財)山形県埋蔵文化財センター主任研究調査員 佐藤庄一氏

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館長 川崎利夫氏

当資料館の開館により、考古学に対する関心の高まりを期待し、やさしい考古学の学習の場と、資料館が開かれた触れ合いの場とするためにこの考古学入門講座を開催した。

土曜または日曜の月2回、旧石器時代から中世に至るまで、10回にわけて行った。

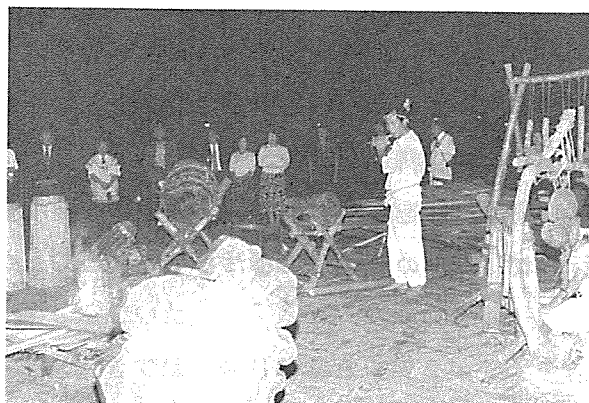
第1回目は、当資料館長の川崎利夫氏による「考古学とは」と題したその導入部分で、考古学のさまざまな定義からはじまり、その時代区分や年代の測定など、初心者にも大変分かりやすい内容であった。

第3回は佐藤鎮雄氏による「縄文時代の人々と文化」で、土器の発明や自然環境の変化など、豊かだった生活を改めて認識することができた。なかでも、縄文人の食物の種類の高さには驚かせられた。

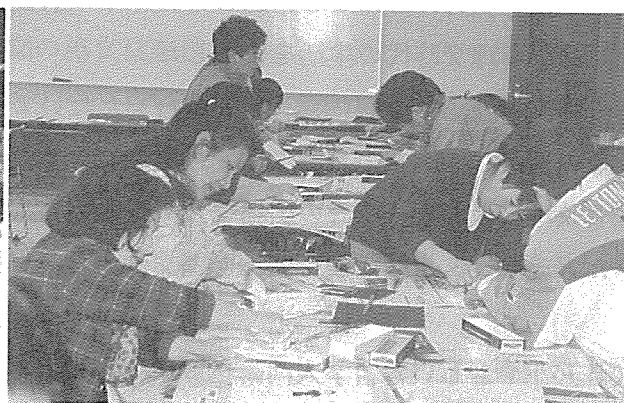
また、この講座では第5回と第8回に体験学習を取り入れ、講座に弾力をもたせた。

はじめの体験学習は「縄文時代の遊び」を楽しもうということで、長さ55センチ、幅5センチの棒状の楽器、「縄文琴」を製作した。材料は杉の木を用いた。ひとりひとり琴の音色が異なるために、参加者たちはそれぞれの音を競い合いながら、古代の音色に浸っていた。2回目の体験学習では、古代食を味わおうということで、縄文かまぼこ、縄文なべ、縄文クッキーの3つを3班に分れて作った。縄文かまぼこは、鮭の骨と身を叩いてすり身にする。それにニンニク、クルミや栗などを粉にしたものを混ぜて木の枝に巻き付け、遠火でこんがり焼いて出来上がり。縄文なべは、なべに鮭のすり身を団子状にしたものを煮立たせて、鮭のアラを入れる。ダシがでたところに、山芋を入れて、芋がやわらかくなったら塩で味を調べて出来上がり。縄文クッキーは、アクを抜いたドングリの粉にクルミ・蜂蜜を加え、良く練り上げてクッキー状にし、焼いてできあがり。これに蜂蜜をかけていただく。

参加者たちは、はじめて口にする味を十分に楽しみ、古代の生活に思いをはせていた。



縄文月見の宴



入門講座の体験学習

3. 資料の収集・保管

(1) 移 管

今年度、(財)山形県埋蔵文化財センターより下表の資料が移管された。移管の日時は、4月12日(火)である。

市町村名	遺跡名	総箱数
高 畠 町	堂 の 下	4
〃	南 原	138
〃	飯 塚 館	2
小 国 町	墓 窪	120
〃	下 野	85
飯 豊 町	赤 岩	23
〃	町 下	1
		計 373

(2) 寄 託

本年度寄託を受けた資料は下表の通りである。

寄 託 者	品 名	数 量	受 託 月 日
米沢市 手塚 孝	押出遺跡 木胎漆器 盤 (レプリカ)	1	4 / 10
天童市 高橋 良一	吉野が里 把頭飾付銅剣 (レプリカ)	1	2 / 13
高畠町 渡辺 一	高畠町福間田遺跡出土 縄文前期・中期遺物一括	石 器 190点 土 器 7箱 須恵器 2箱	12 / 27
高畠町 深瀬 吉男	成島焼 切立	4	12 / 5

4. 資料の活用

・館内利用（写真撮影）の状況

資料名	遺跡と時代	用途	期日	目的
常設展示室，企画展示室の 土器 他	縄文～古代時代	教材	6.4.2	写真撮影
石 器	縄文～古墳時代	写真撮影	6.4.5	学 習
彩 文 土 器	押出遺跡（縄文時代）	写真掲載	6.4.18	雑誌の 写真掲載
土 器 ， 石 器 ， 他	縄文～古墳縄文	教材	6.5.1	写真撮影
鉄 鏃	下小松古墳	写真撮影	6.5.31～6.1	実 測
遺 物 石 棒	沢田遺跡 松永遺跡	写真撮影	6.6.16～6.17	雑誌の 写真掲載
遺 物	一の坂遺跡	写真撮影	6.7.17	趣味・研究
土 器	縄文時代	写真撮影	6.8.5	会社案内
遺 物	縄文～古墳時代	写真撮影	6.8.18	趣 味
ジ オ ラ マ	縄文～古墳時代	写真撮影	6.8.24	研 究
遺 物	縄文～古墳時代	写真撮影	6.9.4	学 習
復 元 住 居 木 製 品 層 土 器 類	押出遺跡（縄文時代）	写真掲載	6.9.2	学 習
土 器 ， 石 刃	縄文時代	写真撮影	6.9.9	デッサン
土 器	縄文時代	写真撮影	6.9.10	会社案内
縄 文 ク ッ キ ー	押出遺跡（縄文時代）	写真掲載	6.10.11	TVの放送
遺 物	日向洞窟 押出遺跡 桑山遺跡群	教材	6.11.10	写真掲載
常 設 展 示 遺 物	縄文～古墳時代	TV撮影	6.11.19	取 材
管 玉	米沢市堂の森遺跡	計 測	6.11.25	修論資料
漆 塗 り 壺（写真）	押出遺跡（縄文時代）	写真掲載	6.11.14	正月別冊の 写真掲載
彩 文 土 器	押出遺跡（縄文時代）	写真掲載	5.8.20	雑誌の 写真掲載
縄 文 ク ッ キ ー 彩 文 土 器	押出遺跡（縄文時代）	写真撮影		趣 味

資 料 名	遺 跡 と 時 代	用 途	期 日	目 的
彩 文 土 器	押出遺跡（縄文時代）	写真撮影	7.1.11	取 材
ジ オ ラ マ	縄文時代	T V 撮 影	7.3.	取 材
木 製 品	押出遺跡（縄文時代）	写真撮影	7.3.24	学 習
赤黒漆彩文土器（大）	押出遺跡（縄文前期）	展 示 品	5.9.1～10.22	特別展展示
黒漆彩文土器（小）	押出遺跡（縄文前期）	展 示 品	5.9.10～11.30	特別展展示
赤漆彩文土器2点	押出遺跡（縄文前期）	展 示 品	5.9.10～11.30	特別展展示
赤黒漆彩文土器 カラーポジフィルム	押出遺跡（縄文前期）	写真掲載	5.9.10～10.15	展示品図録 写真掲載
赤黒漆彩文土器	押出遺跡（縄文前期）	展 示 品	5.10.20～12.22	特別展展示
赤黒漆彩文土器8点 （有孔壺形外・破片共）	押出遺跡（縄文前期）	展 示 品	6.3.11～5.31	企画展展示
石 槍 石 鏃 打 製 石 斧 磨 製 石 斧 石 皿 石 皿		レプリカ 製作のため	6.11.15～12.27	レプリカ 製作

・刊行物一覧

平成6年4月1日から平成7年3月31日までの刊行状況は下表のとおりである。

書 名	発 行 日
第2回企画展図録 一の坂遺跡と巨大住居	5. 1
館 報 うきたむ 第3号	6. 1
第3回企画展図録 発掘された中世 （まじないと祈りの世界）	10. 1
館 報 うきたむ 第4号	11. 3

5. 入館状況

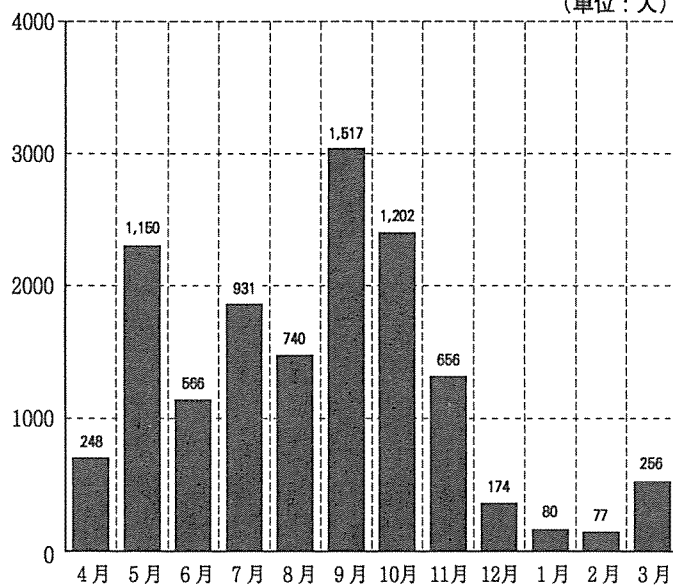
平成6年度 月別入館者一覧表

(人)

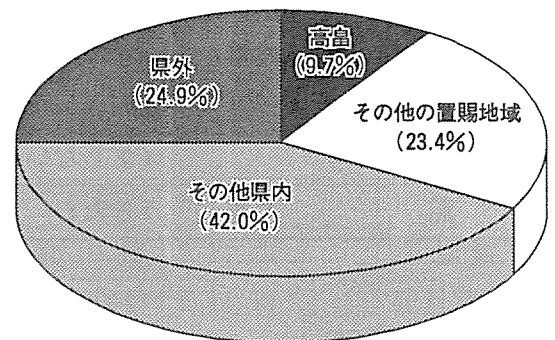
月分	有料入館者数(人)					無料入館者数(人)					合計
	個人		団体		計	個人		団体		計	
	一般	児童等	一般	児童等		一般	児童等	一般	児童等		
6. 4	159	44	67	0	270	7	32	39	0	78	348
5	385	123	73	74	655	167	308	20	0	495	1,150
6	271	11	102	5	389	63	0	114	0	177	566
7	291	44	186	39	560	51	254	66	0	371	931
8	386	126	80	47	639	54	0	46	1	101	740
9	211	27	166	51	455	113	809	137	3	1,062	1,517
10	374	56	235	0	665	258	94	185	0	537	1,202
11	178	29	272	0	479	93	7	76	1	177	656
12	69	6	0	0	75	29	0	70	0	99	174
7. 1	51	3	20	0	74	0	0	6	0	6	80
2	52	8	0	0	60	0	0	17	0	17	77
3	135	26	0	0	161	0	0	89	5	94	255
計	2,562	503	1,201	216	4,482	835	1,504	865	10	3,214	7,696

平成6年度月別入館者

(単位：人)



地域別入館者の割合



芳名簿による1,631名の地域割合
期間 平成6年4月1日12月28日

主な入館団体一覧

NO	団 体 名	人数	NO	団 体 名	人数
1	秋田市農業短期大学	3	40	東京都墨田区交流事業	102
2	山形県立博物館	3	41	天童市小中学校社会科教育研究会	14
3	南陽市教育委員会	9	42	高島町学校教育センター	20
4	山形県デザインネットワーク	30	43	高島町立二井宿小学校	10
5	高島町立第一中学校 2年	33	44	福島県熱海加納村教育委員会	6
6	村山市立大倉小学校 5年	31	45	東南置賜管内指導主事研修	10
7	山形県文教公安委員会	16	46	高島町立二井宿小学校学年研修	49
8	小国町立白沼中学校	8	47	白鷹町教育委員会	4
9	南陽市 小学校6学年部会	17	48	県立長井高等学校	260
10	高島町職員初任者研修	10	49	県立米沢工業高等学校	165
11	高島町立時沢小学校	8	50	県立米沢工業高等学校	158
12	山形県立山形聾学校	6	51	南陽市立中川中学校	49
13	天童市立寺津小学校	68	52	新潟県津南町教育委員会	4
14	最上町教育委員会	30	53	山形市立西小学校	120
15	東根市教育委員会	9	54	山形県立置賜農業高等学校	88
16	東南置賜新採教員研修	52	55	山形県べにばな長寿学園	29
17	山形市立村木沢小学校	37	56	南陽市立吉野中学校	37
18	長井市 西根地区公民館	37	57	東南村山地方事務所	85
19	川西町教育委員会	5	58	西置賜郡現職教育協議会	50
20	南陽市文化財保護委員会	9	59	南陽市史跡めぐり	43
21	兵庫県文化財課	1	60	市町村史編さん担当者研究協議会	25
22	県内教育事務所長研修	11	61	米沢女子短期大学	60
23	山辺町社会教育主事会	9	62	大江町教育委員会	12
24	南陽市教育委員会	2	63	山形市千歳公民館	19
25	高島町史跡めぐり	30	64	中国吉林工業大学	4
26	川西町立学校教育研修所6学年部会	14	65	県立高島高等学校	21
27	高島町糠野目地区公民館	32	66	上山市小学校社会科部会	10
28	山形県博物館連絡協議会	23	67	東南・西置賜教育事務所研修	9
29	北海道十勝郡浦幌町議会	7	68	東京都庁	3
30	高島町立時沢小学校	19	69	置賜財政事務担当者会	12
31	宮城県綾町議会文教福祉委員会	4	70	白鷹町教育委員会	7
32	東北農政局	6	71	新潟県津南町教育委員会	15
33	米沢市教育委員会	17	72	天童市教育委員会社会教育課	3
34	県立米沢工業高等学校1学年	47	73	高島町校長、教頭会	29
35	茨城県新治村議会	24	74	神奈川県考古学財団調査部	3
36	米沢市立南原中学校1学年	68	75	山形県農林水産部	3
37	東京都墨田区文化財保護指導委員	2	76	北村山地方事務所	6
38	高島町技術職員研修	23	77	山形交通旅行バス運転手研修	43
39	寒河江市立中央公民館	46	78	昭和女子大学	2

来観者アンケート

このアンケートは、平成5年9月8日より6年6月19日までのアンケートを回収して、その結果をまとめたものである。

I. 展示内容に関する意見

- ◇展示品を増やしてほしい。(10代女性1名, 20代男性2名, 50代男性1名)
- ◇収蔵品展で一部、時期、遺跡名のないものがあった残念だった。(20代男性1名)

II. 展示方法に関する意見

- ◇資料がよく整備されており、解説も分かりやすく、古代の生活が良く分かった。
(30代男性1名, 40代女性1名, 60代男性1名)
- ◇小さな石器類には、壁に大きな説明の絵が添えてあり、分かりやすく楽しかった。
(30代女性1名, 30代男性1名)
- ◇石器の使用法など、もう少し詳しいものがほしい。
(20代男性1名, 30代男性2名, 40代男性1名)
- ◇出土した物を並べるだけでなく、古代の人々がその物を使ってどのような生活をしていたのか判るように展示してほしい。(40代男性1名)
- ◇発掘現場の写真、フィルム等もたくさん見たい。(40代男性1名)
- ◇展示室のライトが暗く字が読みにくい。(50代男性1名)
- ◇地図が細かすぎて、すぐに位置を確認しにくい。(50代男性1名)
- ◇地名がわからないので、もう少し詳しい地図を添えてほしい。(30代男性1名)
- ◇ビデオの蛍光灯を消せるようにしてほしい。(20代男性1名)
- ◇縄文土器の偏年をつけて欲しい。(20代男性1名)
- ◇土師器(復元)の底部に穴があげられていたと説明があったが、見るのが難しかったので、下に鏡を入れて欲しい。(20代女性1名)
- ◇常設展示室などの場合、車いすで見学に来られる方にとって、展示物との距離、視点、通行などは考慮されているのか。(20代女性1名)
- ◇押出遺跡の家の模型に入れるようにして欲しい。(10代男性1名, 10代女性1名)
- ◇難しい漢字には、ふりがなをふって欲しい。(10代男性1名)

III. 施設全般に関する意見

- ◇大変きれいで、とても落ち着いた雰囲気である。(20代女性2名, 50代女性1名)
- ◇B.G.Mがあるといい。(40代男性1名, 50代男性1名)
- ◇館内の展示はとても充実していると思う。(40代男性1名)

◇見るだけでなく、触れることのできるもの、または一步進めて、体験できるコーナーなどがあれば、より理解も高まるのではないか。(40代男性1名)

◇全国的にも珍しい資料館で、大変良かった。(30代男性1名)

◇外に造成中の復元公園を本格的なものにして、山形県文化の一層を担ってほしい。
(30代男性1名)

◇館内の臭いが気になった。(20代男性1名)

◇新しくてなかなかいい設備である。(10代男性2名, 20代男性1名)

◇長井市西根にある縄文村より大きくて、おもしろい。(10代女性1名)

◇静かすぎる。(10代男性1名)

◇県立博物館より充実している。(30代男性1名)

◇長井市西根にある縄文村より大きくて、おもしろい。(10代女性1名)

◇静かすぎる。(10代男性1名)

◇県立博物館より充実している。(30代男性1名)

IV. その他の意見

◇こんなに素晴らしい資料なのだから、もっと宣伝して、いろいろな人に見てもらいたい。
(10代2名, 20代1名, 30代4名, 40代2名, 50代1名, 60代2名)

◇看板が少ない、小さい。(10代2名, 20代1名, 30代1名)

◇交通機関を便利にしてほしい。(30代男性1名)

◇気軽に親子で楽しめる資料館であってほしい。(20代女性1名)

◇大変勉強になり、参考になった。(10代19名, 30代1名, 60代2名)

◇すばらしくて、感動した。おもしろかった。(10代10名, 50代1名)

◇県内(高畠町)に、これ程多くの遺跡や古墳があるとは知らなかった。
(10代9名, 20代3名)

◇縄文クッキーを見ることができてよかった。(10代6名)

◇まが玉がとてもきれいで、昔の人もおしゃれだったことがわかった。(10代女性4名)

◇竪穴式住居のモデルの中で人々の暮らしを再現して入れてほしい。(10代女性1名)

◇石器がどういうふうに使われているのか知りたかった。(10代男性1名, 20代女性1名)

◇数々の貴重な展示品が身近に見ることができてよかった。(20代男性1名)

◇押出遺跡に感動した。(20代男性1名, 30代男性1名)

◇置賜の昔がしのばれて、感慨深かった。
(20代女性1名, 40代女性1名, 60代女性1名)

◇よくこれだけの石器を集められたものだと感心した。石器の種類の高さに驚いた。
(10代男性1名, 40代女性1名, 50代男性1名)

◇漆塗りの土器が残っているのは不思議だ。(10代男性1名)

◇可能なら、古墳やその他の遺跡の復元モデル(ミニチュア)を展示してほしい。

(40代男性1名)

◇郷土を大切にしていることが伝わってくるような資料館である。(30代女性1名)

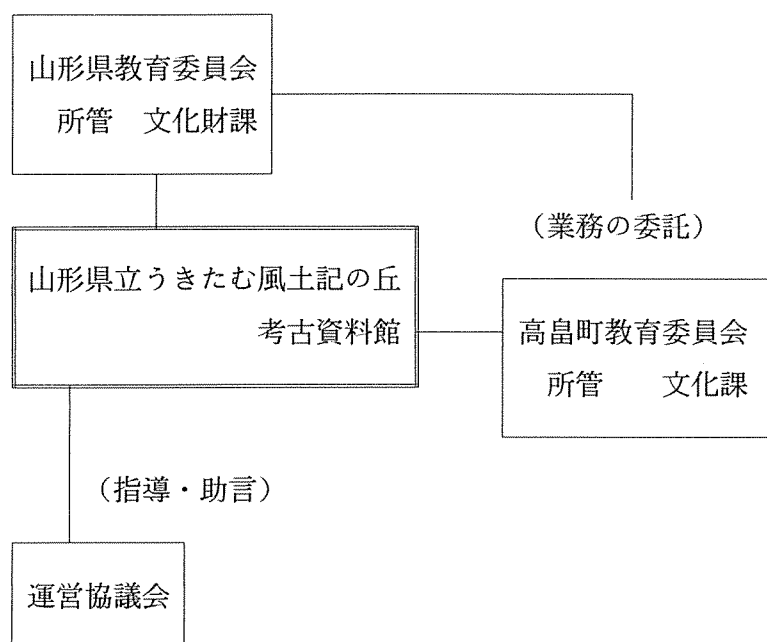
V. アンケートのまとめ

看板が少なく、もっと宣伝をするべきだという意見が目立つ。これは今後改善すべき課題である。

展示方法に関しても改善すべき点が多く見られるが、全体的に見て、本資料館に対する感想は良好といえるのではないか。

6. 管 理 及 び 運 営

(1) 組織・職員



県立うきたむ風土記の丘考古資料館職員名簿

職 名	氏 名	住 所	電 話 番 号	備 考
館長（嘱託）	川崎 利夫	天童市中里2-3-12	0236-55-2693	
主 事	鈴木 栄一	高畠町大字亀岡3913	0238-52-2862	
主 事	島津美智雄	高畠町大字竹森4467	0238-52-0283	
嘱 託	堀江 智子	南陽市宮内3078	0238-47-2878	
臨 時 職 員	鈴木 淳子	高畠町大字中島648	0238-57-2170	6. 2. 3~6. 11. 30
臨 時 職 員	舟山 寿子	高畠町大字深沼1912	0238-52-0466	6. 12. 1~

下「基本カード」という。)へ記入する。

資料が一括資料(同一遺跡より大量に出土した資料)の場合は、「一括資料基本カード」(以下「一括カード」という。)へ記入する。

2. 一括カードとカード及び基本カードは、それぞれ(別記様式第2号)、(別記様式第3号)、(別記様式第4号)のとおりとする。
3. カードの記入事項と同一内容を基本カードへ記入する。
4. 登録する資料には、それぞれのカードへ登録番号を記入する。
5. 記入を完了したカードは、担当学芸員が当該年度末に資料係へ提出する。
6. カードファイルは資料登録台帳を兼ねるものとする。
7. 資料係は、提出されたカードによって登録資料点数を集計し、官報で報告する。
8. 資料係は、カードを年度ごとにファイルし保管する。
9. 一括カード及び基本カードは、担当学芸員がファイルし保管する。
10. 基本カードの紙面不足が生じた場合は、必要に応じて適宜の用紙を追加する。
11. 基本カードは、担当学芸員の調査研究のために使用し、これを随時記入する。
12. 一括カードとカード及び基本カードの各項目は次のように記入する。

- | | |
|-------------|---|
| (1) 資 料 名 | 資料の標準的名称(和名、学名等) |
| (2) 遺 跡 コード | 一括カードの遺跡コードは、県埋蔵文化財センター及び市町村において使用しているものを用いる |
| (3) 出 土 地 | 資料の採集地等の地名 |
| (4) 受 入 番 号 | 受入台帳と同じ |
| (5) 登 録 番 号 | (受入番号と同じ年度コード2桁) + (当該年度の部門ごとの通し番号4桁) で構成される6桁のアラビア数字
登録番号は年度ごとに更新 |

例	93	0475
	／	＼
	年度コード	年度の通し番号

- | | |
|----------------|-------------------------|
| (6) 分 類 記 号 | 分類記号を記入 |
| (7) ネ ガ 番 号 | 「写真資料の整理」で定めたネガ番号 |
| (8) 受 入 種 別 | 該当のものを○で囲む |
| (9) 受 入 先 | 受入先の氏名・名称と住所・所在地及び電話番号等 |
| (10) 遺 物 番 号 | 遺物についている番号 |
| (11) 年 代 等 | 資料の年代等 |
| (12) 材 質 | 資料の材質 |
| (13) 受 入 年 月 日 | 受入台帳と同じ西暦年月日 |
| (14) 状 態 | 受け入れ時の資料の状態 |
| (15) 付 属 品 | 受け入れ時に資料に付属してきたもの |

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| (16) 備考 | 特記事項、その他 |
| (17) カード作成日 | カードに記入した西暦年月日 |
| (18) 記録者 | カードに記入した担当学芸員の氏名 |
| (19) 方眼紙 | 資料に関するより詳しい情報を記入。その他必要に応じて適宜使用 |
| (20) 利用状況等 | 館内利用、館外利用、印刷物等掲載や本館の企画展への出展歴等 |
| (21) 文献 | 参考文献等 |

Ⅲ. 資料ラベル

1. 登録資料には、資料ラベル（以下「ラベル」という。）を貼り付けることを原則とする。
なお、箱ごとの一括資料の場合は箱ごとにラベルを貼り付ける。
2. 資料によってラベルが貼り付けられない場合は、資料に直接登録番号、標本番号を書き込み、ラベルとともに保管して資料の判別がつくようにする。
3. ラベルの様式は、資料の実状に合ったものとし、各部門ごとに作成する。
4. ラベルは、一括カード・カード・基本カードに従って記入する。
5. 担当学芸員は、登録資料の所在（展示、収蔵庫、貸出等）を把握するとともに、ラベルの欠落がないようにする。

Ⅳ. 写真資料の整理

1. 資料の採集、発掘、図録掲載用等、資料に関して撮影したフィルムはすみやかに現像する。
2. ネガフィルムは、ネガポジアルバムの1行分ごとに切断して、部門ごとにアルバムに整理し保管する。
3. ネガフィルムについて、切断した1行分を1つの単位としてネガ番号を定める。
4. ネガ番号は(フィルム種別記号：アルファベット2文字)+(受入台帳と同じ年度コード)+(当該年度の通し番号2桁)で構成し、年度ごとに更新する。

フィルム種別記号	M (白黒)	C (カラー)
L (35mm)	M L	C L
B (6×6)	M B	C B

例

ML	93	70
／		＼
フィルム種別番号	年度	年度の通し番号

5. ネガ番号と撮影データ（撮影日、撮影内容等）は保存するアルバムの行に直接記入する。
6. 撮影内容等のより詳しい記録が必要な場合は、適宜の用紙に記入し、アルバムにファイルし保管する。
7. スライドフィルムは、撮影テーマごとにスライドファイルシートに入れて、部門ごとに整

理し保管する。

8. スライドフィルムについては、スライド番号を定める。
9. スライド番号は（フィルムの種別記号：アルファベット2文字）＋（受入台帳と同じ年度コード）＋（当該年度の通し番号3桁）で構成し、年度ごとに更新する。

フィルム種別記号	S（スライド）
L（35mm）	S L
B（6×6）	S B

例 S L 9 3 7 1 3
 / | \
 フィルム 年度 年度の通し
 種別記号 コード 番号

10. スライド番号と撮影データ（撮影日、撮影内容等）は、スライドマウンドに直接記入する。
11. 撮影内容等のより詳しい記録が必要な場合は、適宜の用紙に記入し、ファイルシートとともに保管する。
12. 展示その他の目的でプリントした写真は、各部門ごとに管理する。

V. 文献資料の整理

1. 文献資料は、資料館において寄贈又は購入によって所蔵された図書・文献などの資料をいう。
2. 分類コードに従って台帳に記入するとともに、必要に応じて一般の閲覧に供するために「文献カード」（様式5）に記入し、書架に整理する。
3. 分類記号は、分類コード・細分記号・市町村コードの順に数字で表し、年月日はすべて西暦年号とする。
4. 文献の分類コードは次の通りである。

附 則

この要領は、平成5年4月1日から施行する。

様式4号(表)

一括資料基本カード

分類記号		登録番号	
資料名		所在	受入番号
出所地		受入種別	蔵・贈・購・託・借・採・他 受入年月日
遺物番号		受入先	(住所)
時代 (形式)			(電話番号) () -
材質		状態	
形態 (mm, g)		付属品 容器他	
		〈備考〉	
		カード作成 年月日	記録者

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

様式4号(裏)

	利用状況	その他
ネガ番号:	撮影年月日: 年 月 日	撮影場所:
		撮影者:

文献資料の整備について

図書分類コード

山形県立うきたむ風土記の丘
考古資料館

01 単行本

- a 行政
- b 学術
- c 一般

02 辞典・事典

03 発掘報告書

- a 他の機関の報告書
- b 山形県による報告書
- c 他県の報告書
- d 県内市町村の報告書
- e 県外市町村の報告書
- f 大学・学会などより発刊した報告書
- g 海外の報告書

04 現地説明会資料

- a 県
- b 市町村
- c その他

05 展示図録

- a 旧石器時代
- b 縄文時代
- c 弥生時代
- d 古墳時代
- e 古代
- f 中世
- g 近世

- h 近代・現代
- i 各時代にわたるもの

06 博物館・資料館ガイド

- a 県内 [カード例]
- b 県外
- c 風土記の丘

↓ 様式5号

文献カード		
分類記号	シリーズ名	
	編著者	
	書名	
	発行所	
	発行年月日	
	受入年月日	
県立考古資料館		

07 館報・年報

- a 県内
- b 県外
- c 風土記の丘

08 リーフレット類

- a 県内
- b 県外
- c 風土記の丘

09 絵葉書

10 雑誌

11 論文（抜萃）等

12 その他

*他県、市町村については、それぞれのコード番号を使用する。

*年月日はすべて西暦年号とする。

*分類記号の例 → 県埋蔵文化財報告書 1990

*書架も以上にもとづき整理する。 寝鹿遺跡発掘調査報告書の場合

03
b
高畠町（コード記号）

(3) 運営協議会

・運営協議会委員名簿

(五十音順)

番号	氏名	住所	自宅電話番号	備考
1	安彦 好重	山形市北山形1-6-8	0236-44-9246	山形城北女子校等学校講師 (TEL) 0236-45-3377
2	佐藤 鎮雄	南陽市三間通1278	0238-40-2053	南陽市立中川中学校教頭 (TEL) 0238-49-2134
3	菅井敬一郎	南陽市宮内3652	0238-47-2660	前高等学校教諭
4	浜田 清明	米沢市東町3-5-22	0238-23-2318	山形県文化財保護協会常任理事
5	舟山 豊弘	米沢市矢来2-6-20	0238-22-4075	山形県博物館連絡協議会副会長 米沢市教育委員会文化課長 (TEL) 0238-22-5111
6	山崎 正	高島町高島1543-7	0238-52-1013	高島町郷土資料館館長 (TEL) 0238-52-4523
7	吉野 智雄	上山市須田坂22	0236-74-2946	前山形市第六小学校校長 山形市野草園 (TEL) 0236-34-4120

委員長 浜田清明 副委員長 吉野智雄

・今年度の運営協議会

第1回 7月28日 本館研修室

- 主な議題 (1) 特別展・企画展の開催計画について
(2) 普及・啓蒙活動の実施計画について
(3) 考古学入門講座について

第2回 10月6日 山形市自治会館

- 主な議題 (1) 今年度前半期の展示及び研修事業について
(2) 後半期の運営計画について
(3) 常設展示室復元住居内の造形展示物設置について

第3回 2月3日 本館研修室

- 主な議題 (1) 平成6年度事業実績について
(2) 平成7年度事業計画について

7. まほろば古の里歴史公園整備事業

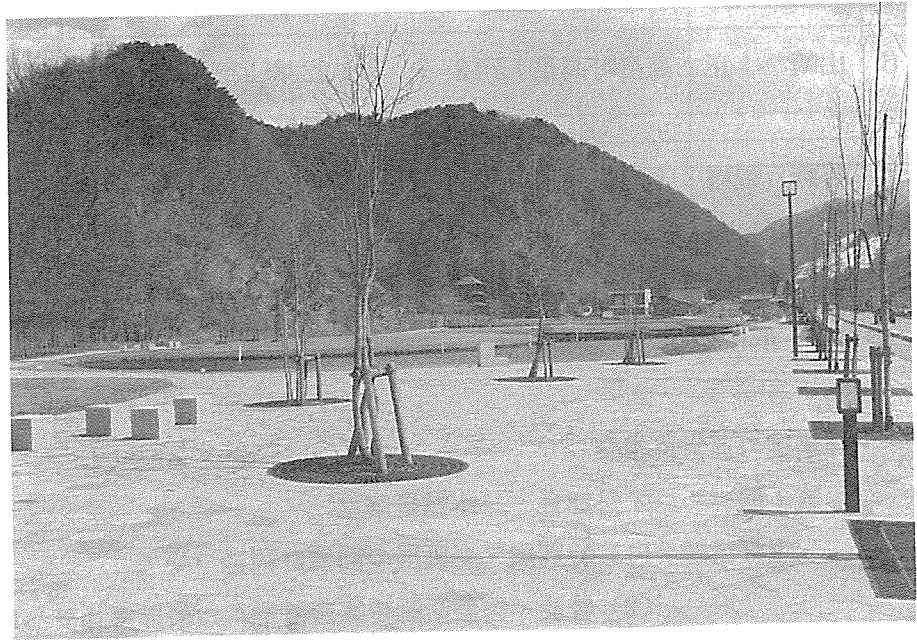
まほろば古の里歴史公園は、考古資料館の東南に広がる自然環境に、県の「風土記の丘」として、歴史・風土的遺産の保存とともに、原始・古代からの県の歴史や文化をより多くの県民に理解していただくための学習施設やレクリエーション施設を整備している。

平成6年度は、池の周りの散歩道の整備と公園の植栽を中心に整備された。園内の植栽は、地域の植生を生かして、桜・菜の花・アヤメ等などが植えられ季節毎に咲き誇る。また、池の中に目珍しい古代のハスの桜蓮・白光蓮・和蓮等や原始水性植物の鑑賞ができるようになっている。

今後の整備は、「体験」「あそび」「憩い」「学習・創作」の4つのゾーンに区分して整備し、豊かな自然の環境を生かした良好な環境の中で、圏域内外の人々が歴史や文化の体験学習やレクリエーションのできる施設として整備される計画である。また、学習・創作ゾーンには、土器づくりやまほろば焼き等の体験学習や特産品や土産品の販売ができる売店を備えた「創造の館」を建設し、自由に体験のできる施設として整備される計画である。

主な整備計画

- ・古代住居の復元
- ・創造の館
- ・アスレチック施設
- ・薬草園
- ・万葉の花園
- ・展望台
- ・野外ステージ
- ・野焼き広場
- ・炭焼き小屋



8 受贈資料・図書・書籍

館 報	書 籍 名 (資 料 名)	発 行 者 名
1	滋賀県埋文ニュース 第168-179号	滋賀県埋蔵文化財センター
2	歴風ニュース 第7.8合併号-10号	私たちのみよし風土記の丘と歴史民俗資料館
3	みよし風土記の丘 No. 48	みよし風土記の丘の会
4	れきみんきょう 16号-17号	広島県歴史民俗資料館等連絡協議会
5	米沢市立上杉博物館年報 VOL. 4-VOL. 5	米沢市教育委員会
6	神奈川県立博物館年報 平成2年度, 5年度	神奈川県立博物館
7	九州歴史資料館年報 平成3年度, 5年度	九州歴史資料館
8	仙台市博物館年報 第20号-21号	仙台市博物館
9	千葉県立房総風土記の丘年報 1, 4, 11	千葉県立房総風土記の丘
10	高知県立歴史民俗資料館年報 平成4年度, 5年度	高知県立歴史民俗資料館
11	紀伊風土記の丘年報 第19号-20号	和歌山県立紀伊風土記の丘管理事務所
12	大分市歴史資料館年報 1991	大分市歴史資料館
13	年報 平成2(1990)年度-4(1992)年度	広島県立歴史民俗資料館
14	(財)広島県埋蔵文化財調査センター 年報 VIII	(財)広島県埋蔵文化財調査センター
15	佐賀県立博物館・美術館 年報 第23号	佐賀県立博物館・美術館
16	佐賀県立博物館・美術館 No. 106-108	佐賀県立博物館・美術館
17	ひろしまの遺跡 第56号-60号	(財)広島県埋蔵文化財調査センター
18	たてはく 第8号-11号	富山県立博物館
19	おおてみち 第7号-10号	滋賀県立安土城考古博物館
20	高知県立歴史民俗資料館だより 第11号-第14号	高知県立歴史民俗資料館
21	名古屋市見晴台考古資料館 年報10-11	名古屋市見晴台考古資料館 1993
22	山形県立博物館報	山形県立博物館
23	大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館ニュース No. 33-34	大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館
24	岐阜県博物館だより VOL. 19 No. 1-2 通巻第53号-54号	岐阜県博物館
25	吉備路郷土館だより No. 17	岡山県立吉備路郷土館
26	ふたかみ 1-2	香芝市二上山博物館
27	府中市郷土の森だより あるむぜお No. 27-30	府中市郷土の森
28	なりた no. 56-60	成田山霊光館
29	斉藤報恩会自然史博物館 博物館だより No. 73-76	斉藤報恩会自然史博物館
30	栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第1号	栃木県教育委員会
31	宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報 1991-1993	大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館
32	富山県「立山博物館」年報. 第3号	富山県「立山博物館」
33	岩手県立博物館だより No. 60-64	岩手県立博物館
34	埋文群馬 No. 21-22	(財)群馬埋蔵文化財調査事業団
35	リトルワールド年報 第16号 1993年度	野外民俗博物館リトルワールド
36	秋田県立博物館ニュース No. 96-97	秋田県立博物館
37	会報 第9号-10号	山形県立博物館連絡協議会
38	岐阜県博物館報 第17号	岐阜県博物館
39	八雲立つ風土記の丘 no. 126-130	島根県立八雲立つ風土記の丘
40	山形県立博物館ニュース 第119号-121号	山形県立博物館
41	山形大学付属博物館報 20	山形大学付属博物館
42	埋文とやま 第46号	富山県埋蔵文化財センター
43	農業博物館だより No. 56-57	岩手県立農業博物館
44	米沢市文化財年報 No. 7	米沢市教育委員会

No.	書 籍 名 (資 料 名)	発 行 者 名
45	資料館報 No.25	埼玉県立さきたま資料館
46	山梨県率考古博物館だより No.30-32	山梨県立考古博物館
47	NKH長岡市立科学博物館報 No.65	長岡市立科学博物館
48	歴研考古 No.14	歴研考古の会・三原邦夫
49	博物館だより アスカディア・古墳の森 VOL.1	大阪府立 近つ飛鳥博物館
50	さきたま No.6	埼玉県立さきたま資料館
51	桐博だより KIRI VOL.2	桐博物館
52	年報 第15号	広島県立みよし風土記の丘広島県立歴史民俗資料館
53	海のはくぶつかん VOL.24 No.5-6 VOL25 No.1-2	東海大学海洋科学博物館
54	やまかいどう No.7	栃木県埋蔵文化財センター
55	年報 平成4年度 1993	(財)広島県埋蔵文化財調査センター
56	埋蔵文化財センター年報 第4号(平成6年度)	(財)栃木県文化振興事業団 埋文センター
57	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報 第8号	栃木県教育委員会
58	芭蕉記念館だより No.2	山形市山寺芭蕉記念館
59	ひょうごの遺跡 16-17号	兵庫県教育委員会
60	苫小牧市博物館だより No.29	苫小牧市博物館
61	多賀城市文化財調査報告書 第14集 年報1 昭和61年度	多賀城市教育委員会
62	多賀城市埋蔵文化財センター年報 第7号 平成5年度	多賀城市埋蔵文化財センター
63	年報 No.24	佐賀県立博物館
64	泰野市立 桜土手古墳展示館だより VOL.8-9	桜土手古墳展示館
65	山形市 野草園だより 4号	山形市 野草園

調査説明資料

No.	資 料 名	発 行 者 名
1	遺跡調査説明資料 平成5年度	(財)山形県埋蔵文化財センター
2	押切遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
3	岡ノ台遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
4	我妻館跡発掘調査 現地説明会資料	米沢市教育委員会
5	寒河江市 高瀬山遺跡 第1次調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
6	寒河江市 富沢I遺跡 第2次調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
7	亀が崎城跡 第2次発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
8	弓張平H遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
9	五百刈遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
10	高島町 渋作遺跡 調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
11	黒藤館跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
12	今塚遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
13	山楯3・4・5遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
14	酒田市 亀が崎遺跡 第3次調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
15	升川遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
16	小豆沢館跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
17	松原遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
18	西ノ前遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
19	西川町 横ぐき楯跡 水沢楯跡 調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
20	西川町 山居遺跡 調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
21	西谷地遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
22	仙台遺跡 栗山遺跡 柳沢A館跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
23	大方遺跡・渋作遺跡 調査説明資料	高島町教育委員会
24	朝日村 野新田遺跡 調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター

No.	資 料 名	発 行 者 名
25	鶴岡市 後田遺跡・大道下遺跡 第2次調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
26	鶴岡市 西ノ川遺跡 調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
27	鶴岡市 西谷地遺跡 第2次調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
28	鶴岡市 塔の腰遺跡 調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
29	嶋遺跡発掘調査概報	山形市教育委員会
30	藤島城跡 第6次発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
31	南原遺跡 堂ノ下遺跡 飯塚館跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
32	白鷹町 廻り屋遺跡 調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
33	木原遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター
34	遊佐町 上高田・水戸下遺跡 調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
35	遊佐町 大坪遺跡 第2次調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
36	遊佐町 堂田遺跡 調査説明資料	(財)山形県埋蔵文化財センター
37	遊佐町 北目長田遺跡・櫓待遺跡	(財)山形県埋蔵文化財センター
38	予備調査説明資料(三条、高瀬山、落衣長者屋敷、睦合)	(財)山形県埋蔵文化財センター
39	蔵台遺跡 発掘調査報告書	(財)山形県埋蔵文化財センター

県内発掘調査報告書

No.	報 告 書 名	発 行 者
1	戸塚山古墳詳細分布調査報告書 第Ⅱ集	米沢市教育委員会
2	一ノ坂遺跡発掘調査概報 第Ⅰ集	米沢市教育委員会
3	埋蔵文化財調査報告書第Ⅲ集 大清水遺跡	米沢市教育委員会
4	遺跡細分布調査報告書 第4集 大浦 湯の花 外ノ内	米沢市教育委員会
5	大浦B遺跡発掘調査概報 第1集	米沢市教育委員会
6	實領塚古墳 第1次調査報告書	米沢市教育委員会
7	稲荷森古墳 発掘調査報告書	南陽市教育委員会
8	蟹沢遺跡発掘調査報告書	小国町教育委員会
9	石ヶ森遺跡発掘調査報告書	高島町教育委員会
10	石邦田遺跡B地試掘調査報告	白鷹町教育委員会
11	宮北B遺跡発掘調査報告書	長井市教育委員会
12	荒沢来窯跡・玉林坊遺跡 分布調査報告書	鶴岡市教育委員会
13	八森遺跡 第11・14次発掘調査報告	八幡町教育委員会
14	稲荷森古墳 保存修理事業報告書	南陽市教育委員会
15	天童・織田館北郭発掘調査概要	天童市教育委員会
16	小関C遺跡発掘調査報告書	天童市教育委員会
17	乱川・杉壇緊急発掘調査報告書	天童市教育委員会
18	次年子 中世遺跡の調査報告	成生荘研究会・野の考古談話会
19	菅沢2号墳 報告書	山形市教育委員会
20	遺跡詳細分布調査報告書(5)	長井市教育委員会
21	市内遺跡発掘調査報告書(1)	長井市教育委員会
22	白山森遺跡 緊急発掘調査報告書	長井市教育委員会
23	まんぎり 第2号-4号	まんぎり会
24	戸長里窯跡 第1次調査報告書	まんぎり会
25	寒河江市内遺跡 発掘調査報告書(1)	寒河江市教育委員会
26	八森遺跡第8・9・10次発掘調査報告	八幡町教育委員会
27	八森遺跡第11・14次発掘調査報告	八幡町教育委員会
28	大楯遺跡第3・4次発掘調査報告書	遊佐町教育委員会
29	史跡米沢藩主上杉家墓所保存管理計画策定報告書	米沢市教育委員会
30	平成5年度 琵琶沼緊急調査報告書 環境・植物	山形県立博物館

No.	報 告 書 名	発 行 者
31	山形県立博物館研究報告書 第15号	山形県立博物館
32	菅沢2号墳	山形市教育委員会
33	上竹井 縄文時代中期から後期前葉期の石器組成研究	上竹井遺跡発掘調査団

県外発掘調査報告書

No.	報 告 書 名	発 行 者
1	日笠地区圃場整備事業に伴う発掘調査報告	福井県遠敷郡上中町教育委員会
2	上高野古墳 調査報告	福井県遠敷郡上中町教育委員会
3	北寺遺跡 調査報告書	福井県三方町教育委員会
4	鳥浜貝塚出土(1985年度調査)の哺乳類遺存体	国立歴史民俗博物館
5	白藤古墳群 調査報告書	群馬県勢多郡粕川村教育委員会
6	西迎遺跡 調査報告書	群馬県勢多郡粕川村教育委員会
7	上大屋・樋越地区遺跡群 調査報告書	勢多郡大胡町教育委員会
8	中川原遺跡群発掘調査報告書Ⅰ 上ノ山遺跡	勢多郡大胡町教育委員会
9	田出井山古墳・塚環状都市遺跡 発掘調査報告	堺市教育委員会
10	堺市文化財調査概要報告 第34冊	堺市教育委員会
11	東京都新宿区 戸山遺跡	戸山遺跡調査会
12	東京都新宿区 西新宿三丁目遺跡	新宿区福祉部遺跡調査会
13	東京都新宿区 北新宿三丁目遺跡	東京オペラシティ建設用地内埋蔵文化
14	東京都新宿区 尾張藩徳川家上屋敷跡	新宿区市谷本村町遺跡調査団
15	埋文センター5年のあゆみ	桜井市教育委員会
16	山武町不特定遺跡発掘調査報告書 島戸境1号墳	山武町教育委員会
17	岩倉幡枝2号墳 木棺直葬墳の調査	京都市埋蔵文化財研究所
18	昭和63年度 京都市埋蔵文化財調査概要	京都市埋蔵文化財研究所
19	仙台市博物館調査研究報告 第14号	仙台市博物館
20	岐阜県博物館調査研究報告 第15号	岐阜県博物館
21	富士見地区遺跡群 赤城遺跡・長泉寺遺跡	群馬県勢多郡富士見村教育委員会
22	小暮地区遺跡群 広面遺跡	群馬県勢多郡富士見村教育委員会
23	富士見地区遺跡群 白川遺跡・由森遺跡・久保田遺跡	群馬県勢多郡富士見村教育委員会
24	池島・福万寺遺跡 発掘調査概要Ⅴ	財団法人 大阪文化財センター
25	大阪城跡発掘調査現地説明会資料 大阪城の発掘調査	財団法人 大阪文化財センター
26	調査研究報告 第7号	埼玉県立さきたま資料館
27	里浜貝塚 9	東北歴史資料館
28	上布田向遺跡 2	(財)山武郡市文化財センター
29	田向城跡	(財)山武郡市文化財センター
30	平成元年度 京都市埋蔵文化財調査概要	(財)京都市埋蔵文化財研究所
31	田間東道北遺跡	栃木県教育委員会
32	三ノ谷東・谷館野北遺跡	栃木県教育委員会
33	長岡百穴A遺跡	栃木県教育委員会
34	那須官が関連遺跡 1	栃木県教育委員会
35	三百目遺跡	栃木県教育委員会
36	埜平遺跡 1	栃木県教育委員会
37	塚崎遺跡	栃木県教育委員会
38	砂部遺跡	栃木県教育委員会
39	古宿遺跡	栃木県教育委員会
40	石神遺跡 第2次調査	栃木県教育委員会
41	金山遺跡 2 (本文編、遺物観察表編、写真図版編)	栃木県教育委員会
42	金山遺跡 2	栃木県教育委員会

No.	報 告 書 名	発 行 者
43	金山遺跡 2	栃木県教育委員会
44	下野国分寺跡X	栃木県教育委員会
45	平塚川添遺跡	甘木市教育委員会
46	馬田下原遺跡	甘木市教育委員会
47	栗山遺跡 2	甘木市教育委員会
48	館前遺跡 昭和54年度発掘調査報告	多賀城市教育委員会
49	柏木遺跡 2 古代製鉄炉の発掘調査報告書	多賀城市埋蔵文化財調査センター
50	市川橋遺跡 昭和61年度発掘調査報告書	多賀城市教育委員会
51	市川橋遺跡ほか 平成5年度発掘調査報告書	多賀城市教育委員会
52	山王遺跡 第8次発掘調査報告書 第22集	多賀城市埋蔵文化財調査センター
53	山王遺跡ほか 発掘調査報告書 第29集, 34集	多賀城市埋蔵文化財調査センター
54	調査研究所 第17集-18集	佐賀県立博物館・美術館
55	岩手県文化財調査報告第94集 平泉遺跡群範囲確認調査	岩手県教育委員会
56	岩手県文化財調査報告第95集 岩手県内遺跡発掘調査報告書	岩手県教育委員会

県外展示図録

No.	書 籍 名 (資 料 名)	発 行 者 名
1	北九州市立考古博物館 常設展示図録	北九州市考古博物館
2	タッチ・ザ・ニホンカイ	福井県立若狭歴史民俗資料館
3	常設展示解説 古代下野国の歴史	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
4	九州の土人形 その歴史と世界	大分市歴史資料館
5	埼玉県立民俗文化センター 展示解説	埼玉県立民俗文化センター
6	秋田美術 第27号	秋田県立美術館
7	しもつけ風土記の丘第4回企画展 古墳時代の終焉	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
8	特別展 古三方湖周辺の縄文遺跡展 1991	三方町立郷土資料館
9	中世若狭を駆ける 若狭武田氏とその文化	福井県立若狭歴史民俗資料館
10	みつけた! 発掘物語	石川県立歴史博物館
11	岩宿時代 展示解説	笠懸野岩宿文化資料館
12	安土城考古博物館 常設展示解説	滋賀県立安土城考古博物館
13	智恩寺発掘調査報告 1992	大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館
14	豊後国都甲荘の調査 資料編	大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館
15	図説 真脇遺跡	石川県能都町教育委員会
16	東京国立博物館紀要 平成3年度	東京国立博物館
17	THE TOHOKU IMAGE みちのくの造形Ⅱ	宮城県美術館
18	第1回企画展 近江の壇輪	滋賀県立安土城考古博物館
19	春季特別展 湖と海之王	滋賀県立安土城考古博物館
20	開館記念展 松戸写真館(カメラがとらえた松戸の人々)	松戸市立博物館
21	ひろしまの青銅器	広島県立歴史民俗資料館
22	特別展 躍動する若狭の王者たち	福井県立若狭歴史民俗資料館
23	企画展 土佐の肖像画	高知県立歴史民俗資料館
24	じょうもん発信	岩手県立博物館
25	会館20周年記念特別展 漆の美	青森県立郷土館
26	第7回企画展 東山道の国分寺	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
27	前方後方墳の世界	栃木県立なす風土記の丘資料館
28	第11回特別展 山梨の経塚	山梨県立考古博物館
29	秋季特別展 天下布武へ	滋賀県立安土城考古博物館
30	特別展 紀伊の古代寺院	紀伊風土記の丘管理事務所
31	特別展 縄文土器の世界	松戸市立博物館

No.	書籍名 (資料名)	発行者名
32	特別企画展 川に生きる	広島県立歴史民俗資料館
33	第4回 企画展 近江の縄文時代	滋賀県立安土城考古博物館
34	企画展 装飾古墳の世界	国立歴史民俗博物館
35	企画展 荘園絵図とその世界	国立歴史民俗博物館
36	写真集 青森県の文化財	東奥日報社
37	漆の美 日本の漆文化と青森県	青森県立郷土館
38	企画展示 漆文化 縄文・弥生文化	国立歴史民俗博物館
39	弥生の祈り人	滋賀県立安土城考古博物館
40	上布田向遺跡 1	財団法人 山武都市文化財センター
41	小池木戸脇遺跡	財団法人 山武都市文化財センター
42	近つ飛鳥写真集	大阪府立近つ飛鳥博物館
43	「輝きの復原」古墳・飛鳥の技術を求めて	大阪府立近つ飛鳥博物館
44	一須賀古墳群資料目録 1 土器編 (実測図)	大阪府教育委員会
45	那須の歴史と文化	栃木県教育委員会
46	図録 農業の技術とまつり	財団法人 大阪文化財センター
47	図録 大阪城跡の調査2-3	財団法人 大阪文化財センター

一 般 書 籍

No.	書籍名 (資料名)	著者名
1	かながわ風土記 第190-212号	(財)扶桑伝統文化振興財団
2	米沢の古代文化	手塚 孝
3	ふるさとの文化財 平成元年	山形県文化財保護協会
4	東原一区 六十年の歩み	山形市東原一区町内会
5	山形の歴史案内 平成4年	山形県地域史研究協議会
6	月刊 文化財 7	文化庁文化財保護部監修
7	青い森の縄文人とその社会	青森県教育委員会
8	京都の文化財 第九集	京都府教育委員会
9	全国博物館総覧 1-4	(財)日本博物館協会
10	文化財保護提要 判例・資料編	文化庁 監修
11	文化財保護提要 法規編	文化庁 監修
12	たいけん原始人	関根 秀樹
13	野焼きでつくるやきもの	大河内信雄・栄子
14	山形考古 第3巻 第4号	山形考古学会
15	山形考古 第4巻 第2号-4号	山形考古学会
16	考古学の世界 ②関東・中部	(監修)森浩一・佐原
17	博物館学講座5 調査・研究と資料の収集	(監修)古賀忠道 徳川宗敬 樋口清之
18	「炎立つ」時代と「やんがた」	山形県生涯学習センター
19	月刊文化財発掘出土情報 6	
20	「天皇陵」総覧	
21	原色日本の美術 1 原始美術	小林 達雄

市 町 村 史

No.	市町村史名	編集者	発行者
1	南陽市史 民俗編	南陽市史編纂委員会	南陽市教育委員会
2	南陽市史 上・中・下巻	南陽市史編纂委員会	南陽市教育委員会
3	南陽市史編集資料 第4-24号	南陽市史編纂委員会	南陽市教育委員会
4	高島町史 中・下・別巻	高島町史編集委員会	高島町

県内展示図録

No.	書籍名(資料名)	発行者名
1	特別展 鳥海山	山形県立博物館
2	特別展 大地の刻まれた山形の歴史	山形県立博物館
3	観覧の手引き	山形県立博物館
4	山形県立博物館 教育資料館 総合案内	山形県立博物館
5	米沢市埋蔵文化財展図録 古代からのメッセージ	米沢市教育委員会
6	'91市民の出版物展	山形市立図書館
7	特別展 鯨の世界	山形県立博物館
8	企画展 やまがたの昆虫	山形県立博物館
9	第65回企画展 堤林数衛と南洋商会	新庄ふるさと歴史センター
10	第23回 日本刀展 桃山時代の名刀展	米沢市立上杉博物館
11	特別展 羽州高畑織田殿領分	高島町郷土資料館
12	斉藤真成展	山形美術館
13	山形デザインアトラス	山形県デザインネットワーク

その他

No.	書籍名(資料名)	著書名(発行者名)
1	「輝きの復元」古墳・飛鳥の技術を求めて	大阪府立近つ飛鳥博物館
2	「織田信長と安土城」	滋賀県立安土城考古博物館
3	KYOTO KAGAKU 開発センター	(株)京都科学
4	Musuen Data Number 25, 26	丹青研究所・文化空間研究部
5	MUSEUM STUDIES 博物館研究 BOL. 28, 29	財団法人 日本博物館協会
6	すみだの史跡文化財めぐり	墨田区教育委員会
7	みる きく ふれる 原始・古代のコメ作り	財団法人 大阪文化財センター
8	リトルワールド NO. 51, 52	野外民族博物館
9	リトルワールド QUARTERLY MAGAZINE	野外民族博物館リトルワールド
10	開館記念特別展 シルクロードのまもり	大阪府立近つ飛鳥博物館
11	会津大塚山古墳の時代	福島県立博物館
12	海のはくぶつかん VOL. 24 NO. 5	東海大学海洋科学博物館
13	絵でみるかしばの歴史年表	香芝市二上山博物館
14	企画展 翁・尉・男・女・霊・鬼	高知県立歴史民族資料館
15	企画展 土佐維新の書	高知県立歴史民族資料館
16	企画展示 近世の武家社会、描かれた祭礼	国立歴史民族博物館
17	季刊 文化遺産	(株)島根県並河萬里写真財団
18	紀要 14	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
19	近世きもの万華鏡 小袖屏風展	朝日新聞社
20	月山 羽黒山 湯殿山 出羽三山資料集	出羽三山神社社務所
21	研究紀要 11	(株)群馬県埋蔵文化財調査事業団
22	研究紀要 1994.3 VOL. 1 BULLETIN	富山県「立山博物館」
23	研究紀要 VOL. 1	財団法人 大阪文化財センター
24	研究紀要 第1号	(株)京都市埋蔵文化財研究所
25	研究紀要 第3号 1994	(株)栃木県文化振興事業団 埋文センター
26	研究収録 4 1994	(株)広島県埋蔵文化財調査センター
27	見晴台遺跡 GUIDE BOOK	名古屋市見晴台考古資料館
28	古代の島根と南九州	島根県立雲立つ風土記の丘
29	古代望見	山梨県立考古博物館
30	古墳と大陸文化	広島県立歴史民族資料館
31	広島県立 みよし風土記の丘歴史民族資料館	広島県立 みよし風土記の丘歴史民族資料館

No.	報 告 書 名	発 行 者
32	江戸時代の名刀展	米沢市上杉博物館
33	紅花資料館 よみがえる紅花	河北町紅花資料館
34	考古学雑誌 第76巻 第4号	日本考古学会
35	考古企画展 ひろしまの縄文土器	広島県立歴史民族資料館
36	高知県立歴史民族資料館 研究紀要 第3号	高知県立歴史民族資料館
37	山形県・最上川上流地域のサケ・マス漁	奏 昭繁
38	山形県立博物館収蔵資料目録、目録(昆虫1)	山形県立博物館
39	山形大学付属博物館 40年のことども	山形大学付属博物館
40	史跡ガイドマップ	墨田区教育委員会
41	資料 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
42	資料 栃木県立なす風土記の丘資料館	栃木県立なす風土記の丘資料館
43	資料 福島県立博物館	福島県立博物館
44	事業計画の概要 平成6年度	山形県教育長文化財課
45	社会概要 communication	㈩京都科学
46	社会教育だより すみだ 85	墨田区教育委員会
47	秋の特別展 四国の戦国群像	高知県立歴史民族資料館
48	秋季特別展 残照 本能時からの織田一族	安土城考古博物館
49	松戸市立博物館紀要 第1号	松戸市立博物館
50	常設展示解説書	多賀城市埋蔵文化財調査センター
51	新家 (その5)	財団法人 大阪文化財センター
52	神奈川の考古学の諸問題	神奈川県立埋蔵文化財センター
53	奏の始皇帝とその時代展	日本放送協会 NHKプロモーション
54	仙台市博物館収蔵資料目録	仙台市博物館
55	全国博物館国職員録	(財)日本博物館協会
56	草津川いまむかし	草津市教育委員会
57	大阪府立近つ飛鳥博物館要覧	大阪府立近つ飛鳥博物館
58	大阪文化財研究 20周年記念増刊号	財団法人 大阪文化財センター
59	大阪文化財研究 第3号-6号	財団法人 大阪文化財センター
60	第12回特別展 古墳時代の甲骨	山梨県立考古博物館
61	第2回企画展 古代東国の産業	栃木県立なす風土記の丘資料館
62	第5, 6, 7企画展	滋賀県率安土城考古博物館
63	滝沢村の文化財	滝沢村教育委員会
64	致道博物館 総合案内	財団法人 致道博物館
65	彫刻 複製 復元	㈩京都科学
66	冬季企画展 モノクロームの仏たち	大阪府立近つ飛鳥博物館
67	東海道の国分寺 (その成立と変遷)	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
68	東北地区 遺跡めぐりガイドマップ	全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会
69	特別展 ザ・絵図 近世やまがたの風景	山形県立博物館
70	特別展 馬と牧	松戸市立博物館
71	縄文時代以降の松戸の海と森の復元	松戸市立博物館
72	縄文人の世界	大分県立風土記の丘歴史民族資料館
73	白い国の詩 1, 2	東北電力株式会社広報部
74	美の世界	東京国立博物館
75	複製・復元 考古	㈩京都科学
76	文化財かわら版 設立10周年記念号	山武郡市文化財センター
77	文化財の修復	京都科学標本株式会社
78	平成6年 秋季特別展 三輪と出雲	桜井市立埋蔵文化財センター
79	平成6年度企画展 西湘の横穴墓、図録	奏野市立桜土手古墳展示館

No.	書 籍 名 (資 料 名)	著 者 名 (発 行 者 名)
80	平成6年度企画展 青そ衣料とくらしの美	山形県立博物館
81	平成6年度秋の特別展 奏野の古代遺跡	奏野市立桜土手古墳展示館
82	墨田区の登録文化財	墨田区教育委員会
83	埋もれた文化財の話 14,15	滋賀県立埋蔵文化財センター
84	明日という名の未来企業	(株)セミコンダクターズニイノ
85	野に生きる考古・歴史と教育	川崎利夫先生還暦記念会
86	遊学浪漫 No.1	(財)山形県生涯学習人材育成機構
87	国学院大学 博物館学紀要 第18編	国学院大学博物館学研究室

9 日 誌 抄

- 4 / 1 辞令交付式
- 4 / 12 山形県埋蔵文化財センターより第2次資料移管
- 4 / 23 デザインサタデー イン高島（本館会場）
- 5 / 5 子どもの日無料開館日 161名入館
- 5 / 10 県議会文教・公安常任委員会視察
- 5 / 29 東北福祉大学博物館実習のための見学
- 6 / 1 第2回企画展「一の坂遺跡と巨大住居」開展
- 6 / 4 特別講演会「東北・北陸の巨大住居の意味するもの」
秋田県埋蔵文化財センター所長 富樫泰時氏
- 6 / 5 古代米の田植えとさなぶり
- 6 / 28 県博物館連絡協議会見学
- 7 / 3 土器づくり教室 37名参加
- 7 / 14 歴史公園ソフト事業推進懇談会
- 7 / 28 本館運営協議会
- 7 / 31 土器づくり教室（第2回）、第2回企画展終了
- 8 / 4 収蔵品展「平地と山地の縄文遺跡」開展
- 8 / 6 高島町教育センター研修会
- 8 / 21 「やさしい考古学入門講座」開講
- 9 / 2 歴史公園協議会
- 9 / 10 第2回考古学入門講座
- 9 / 20 縄文月見の宴 73名参加
- 9 / 25 第3回考古学入門講座
- 9 / 28 収蔵品展終了
- 10 / 1 第3回企画展「発掘された中世—まじないと祈りの世界」開展
古代米稲刈り
- 10 / 4 西置賜現職教育協議会見学研修
- 10 / 8 第4回考古学入門講座
- 10 / 13 市町村史編担当者研究協議会視察見学
米沢女子短期大学史学科見学研修
- 10 / 15 特別講演会「中尊寺金色堂の視察」 東北大学教授 入間田宣夫氏
- 10 / 16 「祈りとたたかいの中世」シンポジウム 61名参加
- 10 / 第2回本館運営協議会
- 10 / 23 第5回考古学入門講座

- 11/3 文化の日無料開館日 入館者38名
- 11/12 第6回考古学入門講座
- 11/27 第7回考古学入門講座
- 11/30 第3回企画展終了
- 12/6 収藏品展「古代の村とくらしー高畠町寝鹿・南原遺跡を中心として」開展
- 12/10 第8回考古学入門講座
- 12/18 第9回考古学入門講座
- 1/22 第10回考古学入門講座及び閉講式 48名終了
- 1/30 ジオラマ取付け作業
- 2/3 復元住居内ジオラマ開展式、第3回運営協議会
- 2/21 歴史公園検討委員会
- 2/28 歴史公園協議会
- 3/8 山形交通バス旅行KK研修会
- 3/11 第1回縄文手づくり教室

’ 94 / 年報

平成7年（1995年） 3月31日 印刷

平成7年（1995年） 3月31日 発行

編集発行 〒992-03

山形県東置賜郡高畠町大字安久津2117

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

印刷 有限会社 寄清堂印刷

